

はじめに

龍ヶ崎市は、古くは小貝川や谷田川をはじめとした河川の恩恵により、稲作を中心とした農業が盛んな都市であるとともに、旧市街の商店街を中心とした稲敷地域の商業都市としての顔を併せ持ったまちでした。そして昭和末期から平成にかけては、全国的な宅地不足から、国策であるニュータウン開発により、本市北側の台地にて大規模な土地区画整理事業が行われたことで、人口増加率全国第2位を記録するなど、一躍時のまちとなりました。その時々の時世により、本市の都市としての特色は様々に移り変わってきましたが、今日においては、全国的な傾向と同じくして、人口減少が進んでおり、これを踏まえたまちづくりを進めていく必要があります。



このような中、前計画である龍ヶ崎市都市計画マスタープラン 2017 では、この人口減少社会を見据えた、コンパクトなまちづくりを目指した集約型の都市計画を進めてきました。

対して、今回の計画では、これまでの都市づくりの基本となるコンパクトシティの考え方を継承しつつも、市街地縁辺部や幹線道路沿い等においては、新たな土地利用を検討する区域とするなど、産業や商業などの立地の可能性を秘めた計画とすることで、本市の持続可能性を土地利用の観点から最大限高めようとするものとなりました。

今後はこの計画に基づき、「住みたい」、「住み続けたい」まちの実現に向けて都市環境の整備に取り組んでまいります。

結びに、計画策定にあたりまして、アンケート調査をはじめ、市民懇談会や説明会、パブリックコメントなど市民参画の機会を通じて貴重なご意見をいただきました市民の皆様、専門的な見地からお力添えをいただきました龍ヶ崎市都市計画審議会委員の皆様にご心から感謝申し上げます。

龍ヶ崎市長

萩原 勇

目次

序章 都市計画マスタープランとは.....	1
1. 計画策定の背景と目的	2
2. 役割	2
3. 位置付け	3
4. 計画期間	4
5. プランの構成	5
第1章 龍ヶ崎市の概況.....	7
1. 龍ヶ崎市の成り立ち	8
2. まちづくりの歩み	10
3. 龍ヶ崎市の特徴	12
4. 龍ヶ崎市の土地利用	18
5. 本市の都市計画を取り巻く状況	20
第2章 全体構想.....	23
1. これからの都市づくりの考え方	24
2. 将来都市像と目標人口	26
3. 都市づくりの基本理念と目標	27
4. 将来都市構造	29
5. 土地利用の方針	32
第3章 目標別構想.....	37
1. すべての人にやさしい住まいと地域がある都市づくり	38
2. 災害に強くしなやかな都市づくり	43
3. 地域資源を活かしたにぎわいと多様な働く場がある都市づくり	46
4. 水と緑・歴史に囲まれて生活できる都市づくり	49
5. 誰もが快適に移動できる都市づくり	52
第4章 地域別構想.....	55
1. 南部地域	58
2. 西部地域	66
3. 北部地域	74
4. 東部地域	82
第5章 都市計画マスタープランの実現に向けて.....	89
1. 基本的な考え方	90
2. 協働によるまちづくり	91
3. マネジメントの視点に立ったまちづくり	91
4. 都市計画制度の活用	92
5. 進行管理と見直し	93
資料編.....	95
1. 策定経緯	96
2. 市民参加の状況	98
3. 検討体制	100
4. 用語解説	101